



平成24年 5 月18日

各 位

会 社 名 カルナバイオサイエンス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 吉野 公一郎
(コード番号：4572)
問 合 せ 先 取締役経営管理本部長 相川 法男
(TEL：078-302-7075)

台湾Abnova社とのバルクタンパク質OEM供給契約締結のお知らせ

当社は、平成24年 5 月18日開催の取締役会において、Abnova(Taiwan)Corporation（本社：台湾 台北市、代表者：Wilber Huang、以下「Abnova社」という）と、当社が製造販売する343種類のキナーゼタンパク質製品のうち、196種類について、Abnova社に対しOEM供給する契約（以下「本OEM契約」という）の締結を決議しましたので、お知らせいたします。

なお、本OEM契約の締結が当社グループの連結業績に与える影響は現在計算中であり、当社グループの連結業績に与える影響が大きい場合は、確定次第すみやかにお知らせしてまいります。

以 上

平成24年 5 月18日

関係者 各位

カルナバイオサイエンス株式会社

台湾Abnova社へのバルクタンパク質供給契約締結のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、Abnova(Taiwan)Corporation（本社：台湾 台北市、代表者：Wilber Huang、以下「Abnova社」という）と、当社が製造販売する343種類のキナーゼタンパク質製品のうち、196種類について、Abnova社に対しOEM供給する契約（以下「本OEM契約」という）の締結を決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 本OEM契約の目的及びその背景

当社グループは、これまで日本国内、海外の製薬企業、大学及び研究機関に対して、当社による直販並びに代理店契約先を通して、当社が創薬基盤技術により研究開発して作製した342種類に及ぶキナーゼタンパク質を自社製造し販売してまいりました。研究用試薬としてのキナーゼタンパク質は、製薬企業等においてキナーゼ阻害剤を研究するに際してその薬効、毒性等を分析する上でなくてはならないものであり、当社が製造販売するキナーゼタンパク質は、品質において他社の追従を許さないものであると考えております。当社グループは、当社が製造するこのキナーゼタンパク質をより多くの製薬企業等にご利用いただきたいと考えており、様々な企業と連携しバルクタンパク質（大量のタンパク質）として供給網の構築を検討してまいりました。

この度、当社は台湾に本社を置くAbnova社とOEM（他社ブランドでの製造）により当社が製造販売する196種類のキナーゼタンパク質について供給することについて合意し、本OEM契約を締結いたしました。

当社グループは、創薬支援事業の主要製品としてキナーゼタンパク質の販売を位置づけており、今後ともキナーゼタンパク質の供給におけるスケールメリットを活用できる体制を構築してまいりたいと考えております。

2. 業績に与える影響について

本OEM契約の締結が当社グループの連結業績に与える影響は現在計算中であり、当社グループの連結業績に与える影響が大きい場合は、確定次第すみやかにお知らせしてまいります。

以 上

(ご参考)

Abnova社の概要

- (1) 名 称 : Abnova(Taiwan)Corpotation
- (2) 代 表 者 : President & CEO Wilber Huang, MD
- (3) 所 在 地 : No.108, Jhouzih St., Neihu District., Taipei Taiwan
- (4) 設 立 年 : 2001年
- (5) 事 業 内 容 : 抗体及び組換えタンパク質の製造・販売
- (6) WEBサイト : <http://www.abnova.com/>

【本件に関する問い合わせ先】

カルナバイオサイエンス株式会社

経営企画部 I R担当

TEL : 078-302-7075